



＜訂正配信＞『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』実現に向けたコンソーシアムを設立発起のお知らせ



※2024 年 10 月 15 日に掲載した本件リリースに誤りがございましたので、以下の通り訂正し、再掲させていただきます。

＜訂正箇所＞3 ページ目問い合わせ先

（誤）▶ 三菱地所設計 広報室 corporate-communications-office@mj-sekkei.com

（正）▶ 三菱地所設計 広報室 corporate.communications.office@mj-sekkei.com

※以下、差し替え文

大変お手数をおかけいたしますが、席数把握のため、ご取材を検討いただける場合は下記メールアドレス宛に 10 月 21 日（月）を目途に申し込みをお願いいたします（当日は事前申し込みなしでもご取材いただけます）。▶ 三菱地所設計 広報室 corporate.communications.office@mj-sekkei.com

PRESS RELEASE

2024/10/16

報道関係各位

学校法人成蹊学園
清水建設株式会社
株式会社三菱地所設計

『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』実現に向けた コンソーシアムを設立発起

3者による学園のDXで「エコキャンパス」化を推進、調印式を開催

学校法人成蹊学園（東京都武蔵野市、学園長：江川 雅子、以下 成蹊学園）と清水建設株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：井上 和幸、以下 清水建設）と株式会社三菱地所設計（東京都千代田区、代表取締役社長：谷澤 淳一、以下 三菱地所設計）は、2030年を目標に位置付けた「CO₂の50%削減」、「デジタル化社会の学園像の構築」、といった方針を『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』と名付け、これを実現すべく検討を重ねてまいりました。

このたび、3者は『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』を推進すべくコンソーシアムを設立することに合意し、本調印式・内容説明会を2024年10月23日（水）に実施いたします。

貴媒体におかれましては、ぜひご取材ならびにお取り上げをいただきたくお願い申し上げます。



2030年を中期目標として、『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』を推進

本コンソーシアムは、新時代の教育の実践や地域社会との連携のもと新たな共創拠点の構築を目指す成蹊学園と、大正期より同学園施設の設計・維持管理に長らく携わってきた三菱地所設計、建物の効率的なエネルギー運用のノウハウを持つ清水建設の3者より構成されています。それぞれのリソースを共同活用することによって、エネルギー（省エネ）、ファシリティ（施設・運営）からのアプローチを図り、学園全体のDX化を進めていくものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社三菱地所設計 経営企画部広報室 corporate.communications.office@mj-sekkei.com

■ 『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』 取り組み計画とその事例

以下の取り組みを推進



エネルギー：設備 DX の推進

- ・消費エネルギー量の削減
- ・設備運用の効率向上



ファシリティ：運営 DX の推進

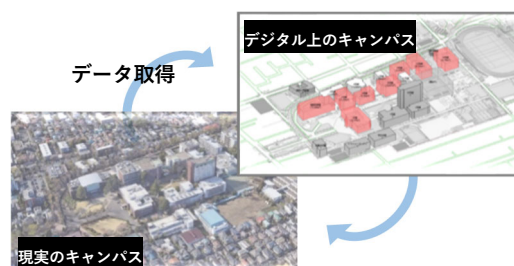
- ・施設運営の改善
- ・デジタル化、資材調達量削減

2030 年の「CO₂ 排出量 50%削減」という目標に向け、多様な DX の実践を図っていきます。

既存施設に対し、複数の IT ソリューションの構築で新たな価値を与える



エネルギーデータの見える化イメージ



既存キャンパスに設けられた空調や照明機器、入室管理情報、センサ等からさまざまなデータを取得（※1）。

「見える化」による課題把握やエネルギーの効率運用でカーボンニュートラル化を推進するとともに、教育・研究活動におけるデータの利活用を図ります。

（※1：清水建設製 建物デジタル化プラットフォーム「DX-Core」による）

既存施設群の多様な情報（人流情報や建物情報など）を一括管理するプラットフォームを構築。

デジタルツイン技術を活用して、リアルタイムなデータの取得・分析や、分かりやすさ・使いやすさを重視した学園の運営支援を目指します。

※ここで紹介している計画は 2024 年 10 月現在のものであり、今後の取り組み方針によって変更となることがあります。

既存キャンパスにて取得したエネルギーデータ（電気・ガス・水道）や、設備機器の運転データをクラウド上に集約・可視化します（※2）。「エネルギーの見える化」による課題把握・運用改善・更なる省エネ改修によりカーボンニュートラル化を推進します。

（※2：清水建設製 エネルギーマネジメントシステム「BECSS クラウド」による）

■ 調印式・内容説明会のご案内

『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想』推進に向け、3 者の代表者の出席のもとコンソーシアムの調印式・説明会を実施いたします。ご多用中のこととは存じますが、ぜひご取材をいただけますと幸いです。

『成蹊学園 エコキャンパス・DX 構想 コンソーシアム協定』調印式・説明会

日 時：2024 年 10 月 23 日（水）

14:45 開場

15:00 調印式（約 20 分を予定）

15:20 説明会（約 20 分を予定）

15:40 終了予定

場 所：成蹊大学 本館 301（東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）

登 壇：江川 雅子（成蹊学園 学園長）

新村 達也（清水建設 代表取締役副社長）

清水 明（三菱地所設計 常務執行役員）

大変お手数をおかけいたしますが、席数把握のため、ご取材を検討いただける場合は下記メールアドレス宛に
10月21日（月）を目途に申し込みをお願いいたします（当日は事前申し込みなしでもご取材いただけます）。

▶ 三菱地所設計 広報室 corporate.communications.office@mj-sekkei.com

■ 各社プロフィール



- ▶ 計画の立案および運用。
- ▶ 学園内および関係各所との各種調整。

成蹊学園は、東京・吉祥寺にある、小学校から大学院まで一貫した教育を提供する教育機関です。建学の精神である「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」を礎に、「知育偏重ではなく、人格、学問、心身にバランスの取れた個性尊重の人間教育」を100年に亘り実践してきました。確かな教養と豊かな人間性を兼ね備え、社会の発展のために献身的に貢献できる人材を育成することをミッションとして社会に貢献していきます。

子どもたちに誇れるしごとを。



- ▶ エネルギー消費の分析を実施。
- ▶ DX化技術提案および構築の実施。
- ▶ 建物OS (DX-Core)、エネルギーデータ可視化システム (BECSSクラウド) 提供。

清水建設は、建設事業の枠を超えた不断の自己変革と挑戦、多様なパートナーとの共創を通じて、時代を先取りする価値を創造し、人々が豊かさや幸福を実感できる持続可能な未来社会の実現に貢献しています。建設を中核事業としつつ、不動産開発、エンジニアリング、グリーンエネルギーなどの諸事業を展開する中で、次の世代、次の時代に対して誇れる仕事ができるように、常にコーポレートメッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」を意識し、日々の業務に取り組んでいます。



- ▶ コンソーシアムの運営を実施。
- ▶ 施設改修等により、デジタルデータをキャンパス空間へと反映。

三菱地所設計は、1890年の創業以来、東京都千代田区丸の内に拠点を構え、都市計画から建築設計・監理、企画・コンサルティング、リノベーション、コンストラクションマネジメントなど、広がり続ける活動領域に130年を超える技術の蓄積やネットワークで向き合う、日本で最も歴史ある組織設計事務所です。中国・上海とシンガポールに海外拠点を設け、東アジア・東南アジア全般に展開。日々多様な業務に取り組んでいます。

以上